



海上SW業務（入出港業務）の見直し

2019年11月14日

輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社

1. 海上SW業務（入出港業務）の見直し

海上SW業務（入出港業務）について見直しが必要と考えており、今後、検討を進めることとしたい。

区 分	概 要	備 考
1. 個別検討事項	海上SW業務（入出港業務）の見直し	
2. 現行仕様	<ul style="list-style-type: none">税関、入国管理局、検疫所、港長、港湾管理者、地方運輸局、海上保安部署、海上交通センター、港内交通管制室宛の各種手続きを行うことが可能である。第6次NACCSから海上入出港業務（B業務および内航船業務等）のWeb化（WebNACCS）を行った。	
3. 見直しの経緯 （利用者の要望等）	<ul style="list-style-type: none">船舶代理店からの要望を受け、Web化の目的は達成されたが、依然としてプログラム変更要望が非常に多い。利用者の利便性向上を図ることにより、入出港業務の更なる電子化・ペーパーレス化を促進する。	
4. 次期仕様	今回は現状の問題点の把握のみとし、次期仕様の提示については今後、詳細検討の場で実施する。なお、プログラム変更要望については第2回WGにおいて提示済みである。	
5. その他	関連議題（第2回合同WG） 「ユーザーインターフェースの見直しについて」 「モバイル端末への対応について」 「デジタル証明書の見直し」	

2. 海上SW業務（入出港業務）の見直しの方向性

利用者ヒアリング結果及びプログラム変更要望等から、現状の海上入出港業務の問題点を抽出。問題点の認識および見直しの方向性として以下のとおり検討を行うこととする。

問題点

WebNACCSに関する利用者からのプログラム変更要望が非常に多い。

- ・ 操作性が悪い
- ・ 帳票確認（WNC業務）、状態確認（WVS業務）が分かれている
- ・ 外部ファイルの一括アップロードができない
- ・ 複数画面での入力となり手間となっている
- ・ デジタル証明書関連 等



方向性

WGの関連議題と合わせ、経済性や機能性を考慮の上で見直しを行い、海上入出港業務の更なる電子化・ペーパーレス化の促進を行うこととする。

- ・ 操作性の向上
- ・ 帳票確認業務および状態確認業務の統合
- ・ 外部ファイル一括アップロード機能の提供
- ・ ユーザーインターフェースの向上
- ・ デジタル証明書の見直し 等